

# 決算説明

---

2025年7月期 通期決算

2025年9月12日



株式会社ウエスコホールディングス

---

【東証スタンダード 証券コード 6091】

- 1 サマリー
- 2 2025年7月期 連結決算ハイライト
- 3 セグメント情報
- 4 コーポレートアクション・トピックス
- 5 2026年7月期 連結決算計画

### FY2025 実績

- 業績予想対比、「増収・増益」で着地し、増配
- コア事業の総合建設コンサルタント事業が連結業績を牽引し、一過性の大規模修繕費や人件費の増加をこなす

### FY2026 計画

- 次期の連結業績は、経常利益を除き、「増収・増益」を計画
- コア事業は継続して堅調な推移を見込む
- 不動産売却に伴う特別利益計上を予定

### 中計進捗 (2024-2026)

- 自己株式の取得 (ToSTNeT-3)
- 社員持株会に対する自己株式の第三者割当
- 自己株式の取得 (2025/9/16～)

## 連結P L

■コア事業は全般的に好調を維持。一過性の社屋修繕費の増加や営業外の保険金収入剥落も、事業収益や投資運用益の増加によりカバー

(単位：百万円)	FY2024	FY2025	前期比	主要因
売上高	15,725	16,114	2.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設コンサル事業+625M</li> <li>・水族館事業▲184M</li> </ul>
営業利益	942	987	4.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コア事業の増収、生産原価率前期比0.3%改善</li> <li>・大規模修繕78Mによる経費増加</li> </ul>
営業利益率	6.0%	6.1%	0.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト削減の積み上げにより軽微な改善</li> </ul>
経常利益	1,228	1,215	▲1.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一過性の保険金収入剥落 前期比▲42M</li> <li>・純投資損益126M 前期比+10M</li> <li>・水族館TK出資 前期比▲23M</li> </ul>
親会社株主に帰属する当期純利益	768	774	0.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不動産減損損失32M計上</li> <li>・賃上げ促進税制の税額控除適用により、法人税減少▲53M</li> </ul>

\*文中の単位「M」=百万円（以降、各頁同様）

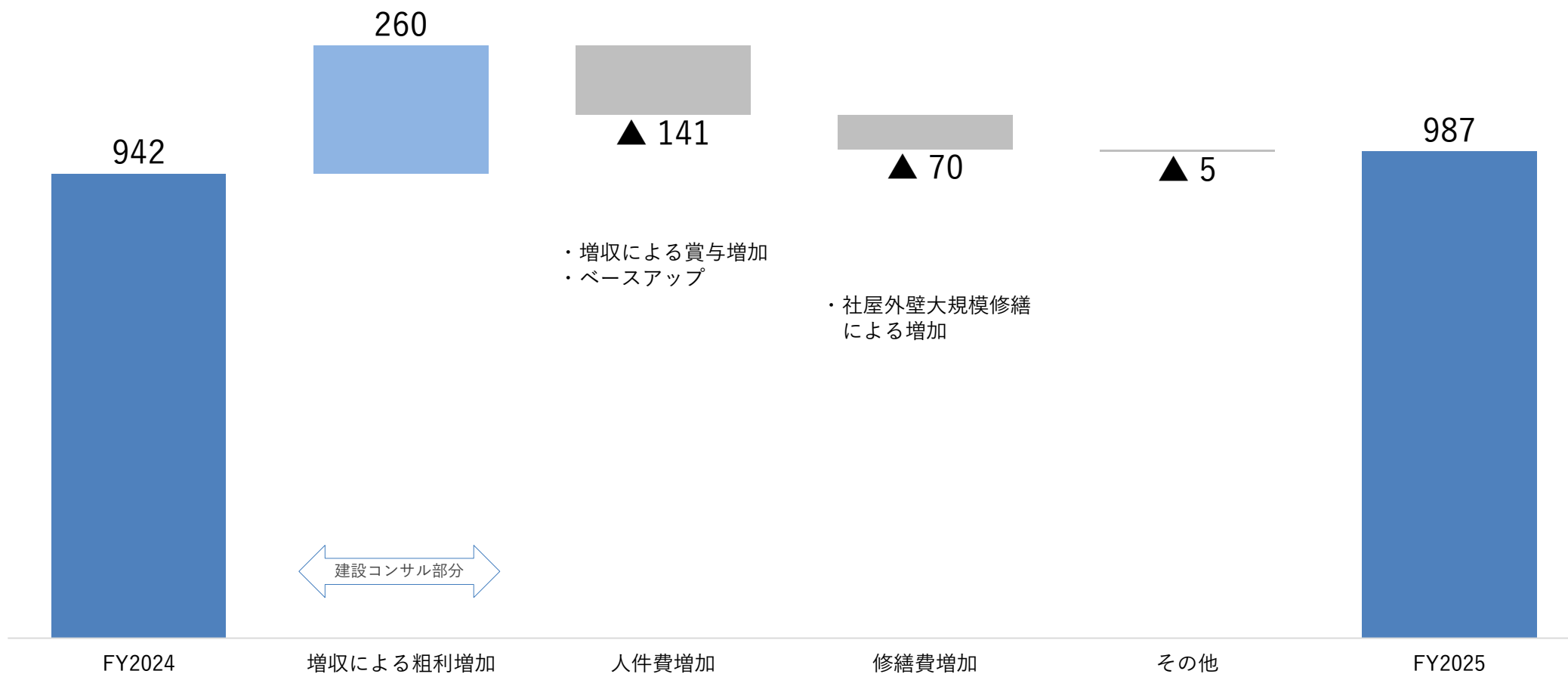
\*掲載数値は、表示桁未満の単数調整あり（以降、各頁同様）

## 連結P L 営業利益の増減要因

■営業利益は、45M（前期比4.8%）増益

■当期は、人件費の増加や第4Q計上の老朽化した社屋の大規模修繕費が営業利益を押し下げ

（単位：百万円）

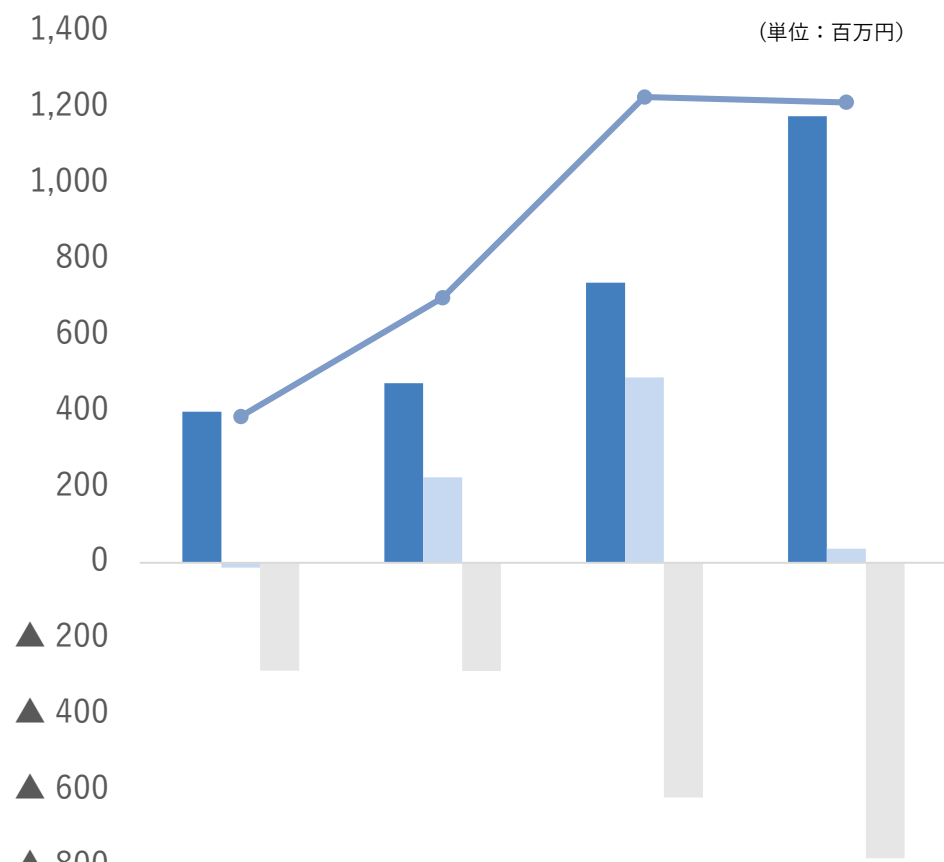


\*セグメント中核の総合建設コンサルタント事業における従業員のベースアップは、概ね年3.0%水準（決算賞与を除く）

## 連結BS

(単位：百万円)	FY2024	FY2025	増減	補足
流動資産	13,454	14,047	592	・ 流動比率309%
(現預金)	(9,135)	(9,568)	(433)	・ 月末平均残高6,500M(2-3月は概ね4,000M弱)
固定資産	7,305	7,194	▲110	・ 固定比率44%
(投資その他資産)	(4,038)	(4,086)	(47)	
<b>資産合計</b>	<b>20,759</b>	<b>21,242</b>	<b>482</b>	・ 「最低」 運転資金は3,100Mと定義
流動負債	4,146	4,542	395	
固定負債	436	444	8	・ 有利子負債なし
<b>負債合計</b>	<b>4,582</b>	<b>4,986</b>	<b>404</b>	
株主資本	15,691	15,724	33	・ 自己株式の取得により資本増加低減
その他純資産	486	530	44	
<b>純資産合計</b>	<b>16,177</b>	<b>16,255</b>	<b>78</b>	・ 自己資本比率 76%
<b>負債純資産合計</b>	<b>20,759</b>	<b>21,242</b>	<b>482</b>	

# 連結キャッシュフロー計算書



	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025
営業CF	398	473	738	1,176
投資CF	▲ 13	225	488	37
財務CF	▲ 284	▲ 285	▲ 619	▲ 779
FCF	385	698	1,227	1,213

## 増加要因

## 減少要因

### 営業CF

前期比+438M

契約資産の減少額180M  
未成業務受入金の増加額302M

法人税等の支払額▲226M

### 投資CF

前期比▲451M

有形固定資産の取得による  
支出▲48M

投資有価証券の支出+償還収入  
▲503M

### FCF

前期比▲13M

安定したFCFを背景に、自己株取得等の資本政策を強化

### 財務CF

前期比▲160M

ファイナンス・リース債務の返済による  
支出▲9M

配当支払額▲79M  
自己株式の取得による支出▲91M

### 現金・現金同等物の 期末残高

9,567M (+433M)

### 年間設備投資額

有形固定120M+無形固定12M = 132M

### 減価償却費

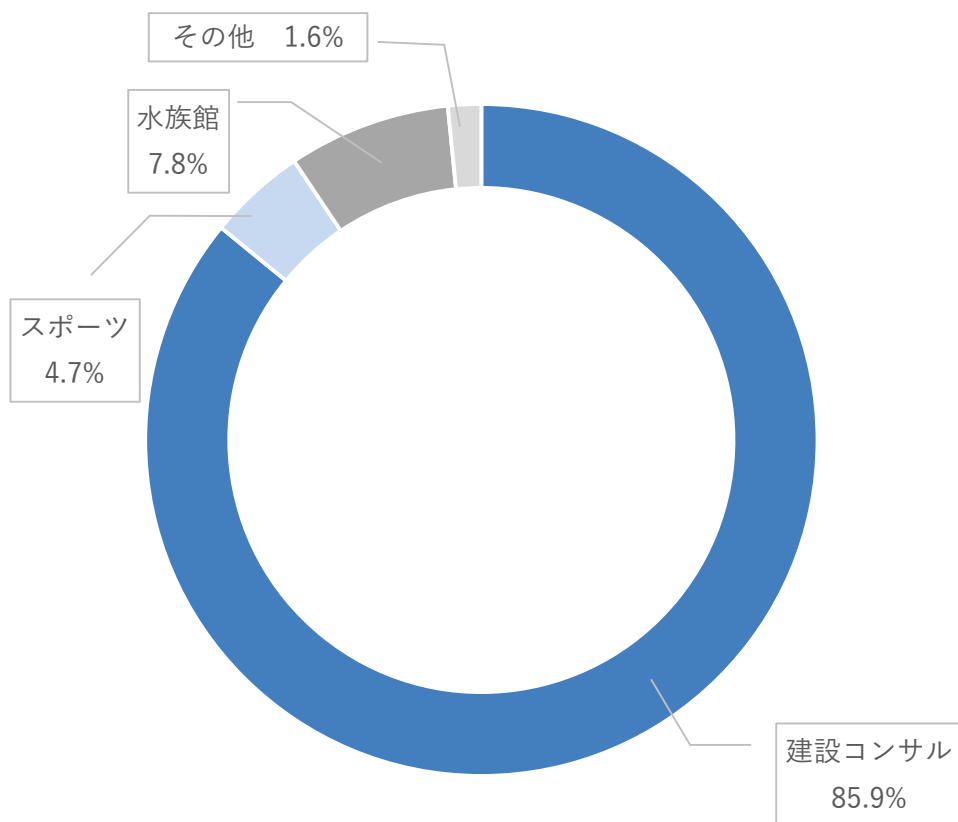
271M (前期比▲49M)

### 3. セグメント情報

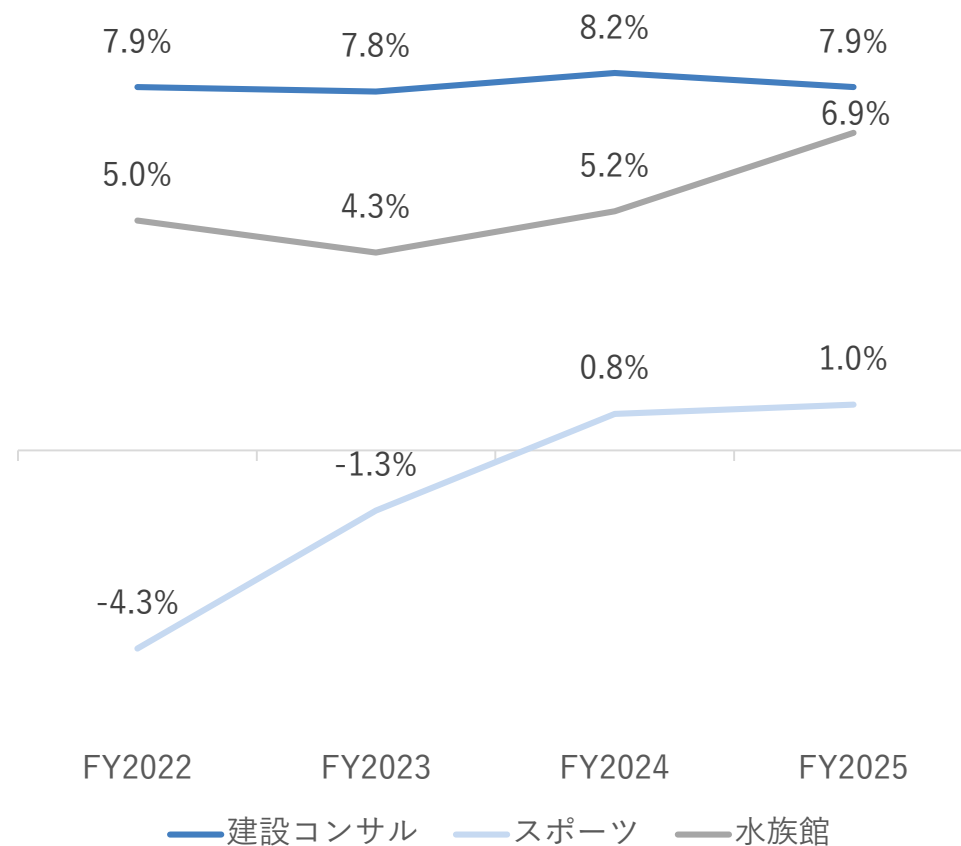
## 事業ポートフォリオ

- 連結業績に占める建設コンサルの構成比が増加。当該セグメントを中核とする事業構造に変化なし
- 建設コンサルの利益率低下は、大規模修繕費に係るセグメント費用配分が主要因

#### ■ セグメント別売上高構成比



#### ■ セグメント別 営業利益率推移





### 3. セグメント情報

## セグメント別P L概況

- 建設コンサル：盛土基礎調査等の防災関連、橋梁点検等のインフラ保全業務等により増収。収益面に大きな変化なし
- スポーツ：指定管理事業の受託が減少するも会員単価の増加により、売上横ばい。施設維持管理コストの削減により収益確保
- 水族館：来館者減少により減収なるも、売上に応じた変動賃料による固定費削減やアドバイザー業務の増加により利益水準は維持

### セグメント売上高

### セグメント営業利益

(単位：百万円)	FY2024	FY2025	前期比	FY2024	FY2024	前期比
総合建設コンサルタント事業	13,210	13,835	4.7%	1,084	1,092	0.7%
スポーツ施設運営事業	769	759	▲1.3%	6	7	24.3%
水族館運営事業	1,434	1,250	▲12.9%	75	86	14.6%
その他事業	311	269	▲13.3%	40	26	▲35.2%
(連結相殺・調整額)	—	—	—	(▲264)	(▲225)	(39)
<b>連結合計</b>	<b>15,725</b>	<b>16,114</b>	<b>2.5%</b>	<b>942</b>	<b>987</b>	<b>4.8%</b>

\*連結相殺・調整額：主としてその他事業である複写製本事業のグループ間取引の連結相殺額および持株親会社のウエスコHD経費配分調整額

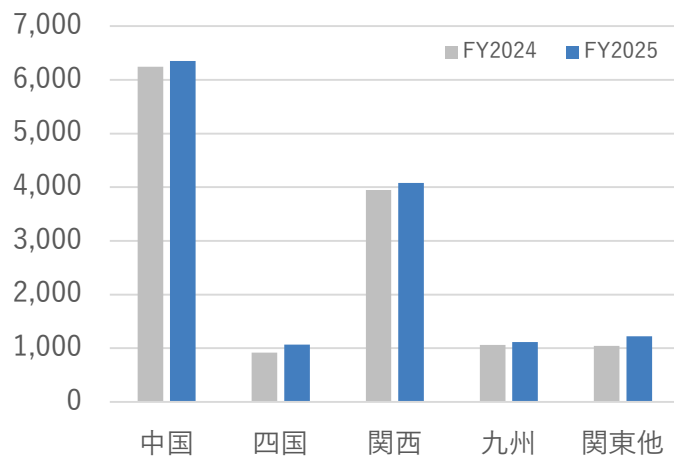
### 3. セグメント情報

## 総合建設コンサルタント事業（分解情報）

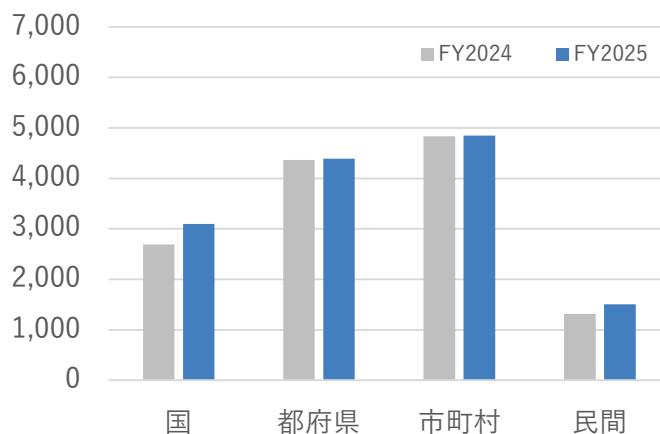
- 発注者別では能登災害関連業務により民間受注増加。土砂災害警戒区域調査や橋梁点検、上下水のPPP業務等が増加し、全般堅調
- 契約単価は、人件費上昇を加味して上昇傾向にあり、今後も継続する見込み。一方、全体発注数量は横ばい、またはやや減少を見込む

(単位：百万円)

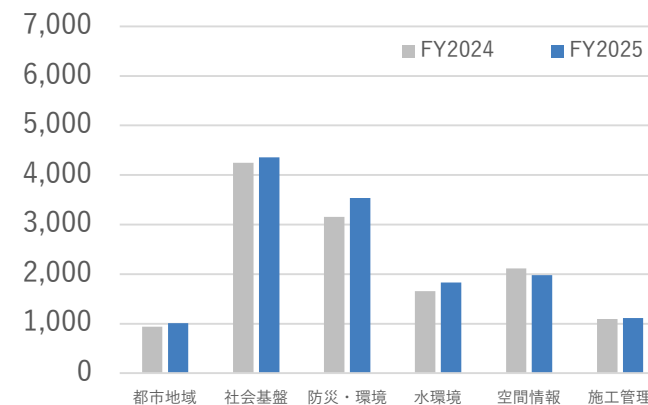
■地域別



■発注者別



■事業分野別



■契約単価

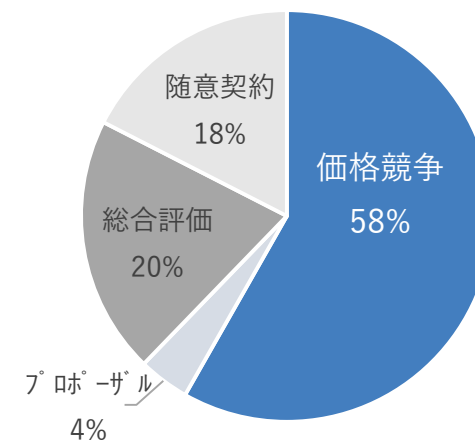
	FY2023	FY2024	FY2025	増減
契約単価	8.5	8.2	9.0	0.8
中央値	4.5	4.7	4.9	0.2
単価上昇率	109.3%	105.1%	115.5%	10.4pt

\*単価上昇率は、FY2022基準の上昇率

■リードタイム  
(ウエスコ単体)

	(単位：日)	FY2023	FY2024	FY2025	増減
国等		310	305	318	12
県		265	247	260	13
市町村		265	268	252	▲16
民間		203	183	202	19
全体		261	254	255	1

■契約方式別(FY2025)



コーポレートアクション

施策（実施時期）	内容	目的
<p><b>自己株式の取得・消却 (ToSTNeT-3)</b> (2024/12/16・2024/12/20)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立会外買付取引により、606,200株を取得</li> <li>・取得株式は、全株式数を消却済</li> </ul>	<p><b>資本効率の向上 株式希薄化懸念の払拭</b></p>
<p><b>社員持株会の特別奨励金 スキーム</b> (2025/8/6・2025/10/20)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人あたり自己株式200株の第三者割当処分を予定</li> <li>・持株会加入率は、中計目標の60%を達成</li> <li>・ベースアップと併せて採用競争力の向上を図る</li> </ul>	<p><b>経営参画意識の向上</b></p>
<p><b>株主優待制度の廃止</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年7月末基準の株主様への提供を以て終了 (2025年10月の株主総会終了後に発送予定)</li> <li>・今後は、配当や自己株式の取得等による利益還元を集約</li> </ul>	<p><b>公平な株主還元</b></p>
<p><b>自己株式の取得</b> (2025/9/16～2026/1/30)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取得枠「上限468百万円、上限56万株」にて市場買付予定</li> </ul>	<p><b>ROE・PBRの改善 株主還元強化</b></p>

## 4. コーポレートアクション・トピックス

### 「資本コストや株価を意識した経営の実現」に向けた対応

■ 関税ショック以降、内需ディフェンシブ銘柄として堅調推移。一方、上場来高値更新且つP E R 15倍水準達成もP B Rは改善が必要な状況



期初－期末株価	587－685円	P B R (期中推移)	0.44～0.62倍	株主資本コスト (期末-CAPMモデル推定)	5.4%	資本コストを上回るROE達成のため、 「事業収益の拡大」 + 「資本効率の向上」 を目指す
最低－最高株価	489－735円	P E R (期中推移)	10.2～15.1倍	リスクフリーレート	1.55%	
BPS	1,197.28円	流通株式比率	68%	β 値	0.64	
EPS	56.02円	時価総額(期中推移)	70～100億円	マーケットリスクプレミアム	6.0%	

## 4. コーポレートアクション・トピックス

### 非財務KPIの進捗

事業セグメント別の中計KPI		FY2024	FY2025	前年差異	FY2026(中計目標)
	技術継承	40歳以下管理技術者数 29人 ミスクレーム件数 0件	40歳以下管理技術者数 32人 ミスクレーム件数 0件	40歳以下管理技術者数+3人 ミスクレーム件数 ±0件	(FY2023比) 40歳以下管理技術者数200% ミスクレーム件数 0件
建設コンサル	研究開発・DX	0.5億円	0.5億円	+0.0億円	3年間累計投資 6.5億円以上
	エリア拡大	20.5億円	25.7億円	+5.2億円	関東・九州エリア 受注額23億円
スポーツ	施設会員数増加	6,403名	6,390名	▲13名	会員数 7,000名以上
	FC店舗拡大	1店舗	(累計) 1店舗	—	3年間累計FC出店 3店舗以上
水族館	来館者増加	1,200,409人	1,045,205人	▲155,204人	年間来館者数 145万人以上
	新規出店	0施設	(累計) 0施設	—	新規出店 1施設以上
サステナビリティKPI		FY2024	FY2025	前年差異	FY2026(中計目標)
連結	女性管理職比率	5.6%	3.8%	▲1.8pt	7.0%
	中途社員管理職比率	44.2%	47.6%	3.4pt	40.0%
	外国人管理職数	0名	0名	—	1名以上
	男女賃金格差	55.8%	60.3%	4.6pt	70.0%
(株)エスコ	男性育児休業取得率	42.9%	100%	57.1pt	100%
連結	従業員持株会加入率	63.9%	66.8%	2.9pt	60.0%
	健康経営優良法人認定件数	0社	1社	1社	2社
提出会社	重大な法令違反	0件	0件	—	0件
	リスク等の評価実施件数	3件	4件	1件	4件

## 連結業績予想

■第一次中計目標の売上高達成は困難な見通し。一方、収益水準の向上によりトップラインを除く、財務KPIは達成を目指す

(単位：百万円)	FY2025 (実績)	FY2026 (計画)	対前期比 (増減)	FY2026 (第一次中計目標)
売上高	16,115	16,400	1.8%	17,000
営業利益	988	1,050	6.3%	1,050
営業利益率	6.1%	6.4%	0.3%	6.4%
経常利益	1,215	1,150	▲5.4%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	774	840	8.5%	—
ROE	4.8%	5.0%	0.2%	5.0%以上

## 業績計画の前提

### セグメント

#### 総合建設コンサルタント事業



### 次期の業績計画補足

- ・【受注】 豊富な繰越受注残高7,796M（前期比▲0.7%）あり、全般的に堅調推移の見通し
- ・【経費増加要因】 人材獲得競争の激化により、採用競争力を高めるためにもベースアップ継続
- ・【トピックス①】 能登災害関連業務が増収寄与
- ・【トピックス②】 道路陥没事故の影響により、路面下空洞・埋設管調査の需要増加
- ・【トピックス③】 国土強靱化に伴う、防災関連業務は継続して主軸
- ・【エリア】 中計目標に掲げる関東・九州地方は継続して受注拡大の見通し
- ・【リスク】 技術部門の繁忙に伴う、設計瑕疵の防止に努める

#### スポーツ施設運営事業

#### 水族館運営事業



- ・ノンコア事業は、いずれも横ばいを計画
- ・コスト削減等含め、収益水準の維持を図る方針

#### グループ連結

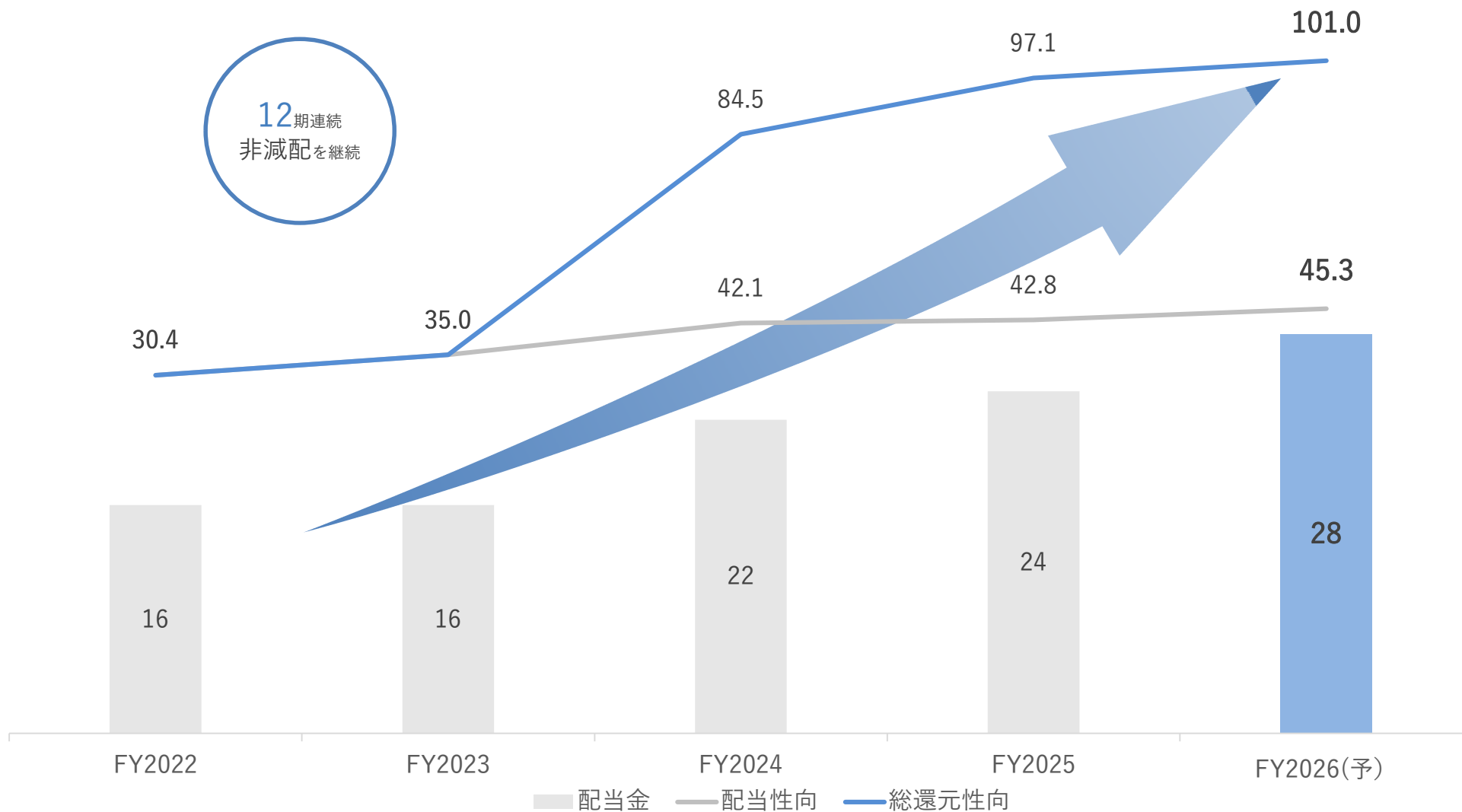


- ・堅調な建設コンサルが業績牽引
- ・大規模修繕費の経費剥落も、持株会特別奨励金スキームの実行により経費増加
- ・投資運用益の減少等により、営業外損益は減益を計画
- ・不動産オフバランスを進めており、次期は多額の不動産売却益を獲得見込み
- ・フリーキャッシュフローの推移や増益に伴い、連続増配・自己株取得を予定

## 株主還元／配当政策

■次期は1株あたり28円の配当を予定。継続的な安定配当および機動的な自己株式の取得により、高水準の株主還元政策を実施

■配当額(円)と配当性向・総還元性向(%)の推移





### <ご注意事項>

1. 本資料は、有価証券の募集・売出、販売、勧誘を目的とするものではありません。
2. 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々なリスクや不確定要素等の要因により、大きく異なる可能性があります。
3. 本資料の掲載内容については、細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性および確実性を保証するものではないことを予めご了承ください。

### < I R に関するお問い合わせ先 >

株式会社ウエスコホールディングス 経営企画室

(代表電話番号) 086-254-6111

(Webサイト) <https://www.wescohd.co.jp/>

上記Webサイトの「お問い合わせ」フォームもご利用いただけます。